

評価項目 ・計画に関する工夫 ・災害時に関する工夫 ・コストを削減する工夫 ・事業を円滑に進めるための体制と早期完成に向けた工夫 ・その他の工夫

PROPOSAL CONCEPT

- 急性期医療の強化
- 療養環境・職場環境の向上
- 自然災害・感染症への対応
- 地域連携、工期短縮
- 省エネ、コスト削減

※基本設計方針、病院ホームページ等より

高度急性期医療を提供する  
運動性能の良い病院

- ・動線の合理化
- ・診療部門の機能強化
- ・稼働率の高い手術室

患者様・スタッフ様にやさしく  
快適な環境づくり

- ・患者アメニティの充実
- ・スマート技術の導入
- ・看護業務の効率化

365日・24時間  
止まらない  
安全で安心な病院

- ・免震構造
- ・パンダタウンホスピタル
- ・感染症対応

北泉州地域に  
根ざした  
地域密着の病院

- ・人口変動対応
- ・地域貢献
- ・工期短縮で負担軽減

地球環境にも  
配慮した  
省エネルギーな病院

- ・LCCの削減
- ・低炭素社会への貢献
- ・CASBEE-Aランク



基本設計の見直しによる機能及び環境等向上の工夫

診療機能の向上、合理化に資するよう配慮された工夫

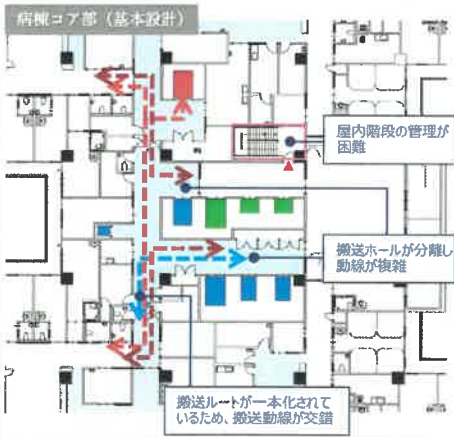
- 動線の効率化を図ります
- 緊急対応しやすい計画とします
- 関連部門の連携を強化します

- 1.縦動線の合理化
- 2.救急部門内における機能強化と搬送動線の短縮
- 3.手術部門とアンギオ室の連携強化

1.縦動線の合理化

- ・搬送用EVと一般用EVはそれぞれ集約し、各々のEVホールに配置することで、建物全体の搬送業務やスタッフ移動の効率化を図り、運動性能の高い高機能な病院を計画します。
- ・特に病棟階においては、搬送用EVからスタッフ通路と一般廊下の双方に直接アプローチでき、患者搬送と物品搬送の動線交錯を防ぎ、運動性能を大きく高めることができます。更に一般用EVホール側とも接続することで、より効率化を図ることができます。

- ・救急用EVも一般廊下に直結し、緊急搬送にも対応しやすい計画です。
- ・縦動線の合理化により、病棟階のみでなく全ての階における搬送業務の効率化や、セキュリティ面、患者や家族の動線・誘導の合理化など、様々なメリットを付加することが可能です。
- ・内部階段を搬送用EVホールに面して配置することで、スタッフの通常使用に対応し、搬送用EVの待ち時間短縮を図ります。



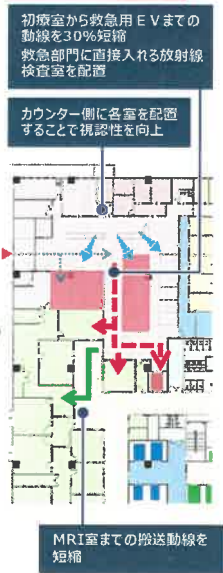
2.救急部門内における機能強化と搬送動線の短縮

- ・初療室エリアから救急EVまでの動線長さを30%短縮します。また、救急用EVから手術部門、病棟へも直接アプローチ可能な計画とします。
- ・救急部門からX-P室やCT室へ直接入室できる配置とし、MRI室も救急部門に近接させることで搬送の効率化を図ります。
- ・救急部門のSSを、初療室エリア全体及び観察スペースまで見通せる配置とするとともに、器材スペースも確保して業務の効率化を図ります。

救急部門 (基本設計)

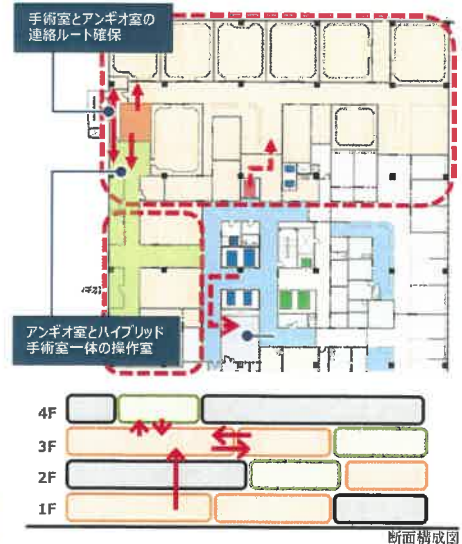


救急部門 (提案設計)



3.手術部門とアンギオ室の連携強化

- ・限られたスペースの中、中央材料室を4階に移設し、3階の手術部門とアンギオ室は直結し、連絡ルートを設けます。これにより、麻酔科医や看護師・技士といったスタッフが、滅菌物を保管するエリアを通過することなく、2部門間を往來することができます。
- ・ハイブリッド手術室の操作室はアンギオ操作室と一体で配置し、業務の効率化を図ります。
- ・救急EVは手術前室に直接アプローチできる配置とし、手術室への動線を効率化します。
- ・なお、人工透析室も同時に搬送用EVに隣接させ、患者搬送動線を短縮しています。



評価項目 ・ 計画に関する工夫 ・ 災害時に関する工夫 ・ コストを削減する工夫 ・ 事業を円滑に進めるための体制と早期完成に向けた工夫 ・ その他の工夫

基本設計の見直しによる機能及び環境等向上の工夫

看護機能の向上、合理化に資するよう配慮された工夫

病棟における看護動線を合理化します

病棟機能の効率的な集約を図ります

病棟間連携を強化します

- 1.単純H型形状の病棟計画による合理的病室配置
- 2.柱がなく見通しの良い病棟SS
- 3.SSリンクによる病棟機能の集約と病棟間連携
- 4.集中治療部門の機能的な動線計画

1.単純H型形状の病棟計画による合理的病室配置

- ・縦動線の合理化による運動性能を確実に活かせるよう平面は単純形状のH型病棟を構成し、回廊型の一般廊下を配置します。
- ・各病室への動線効率が良く、まっすぐ見通しの良い廊下は、スタッフにも、患者にも視認性が高い空間となります。
- ・重症個室群はスタッフステーションの正面に配置し、より看護機能を高める計画とします。
- ・陰圧個室は搬送ホール直近に配置し、周囲への影響を最小限に抑えます。

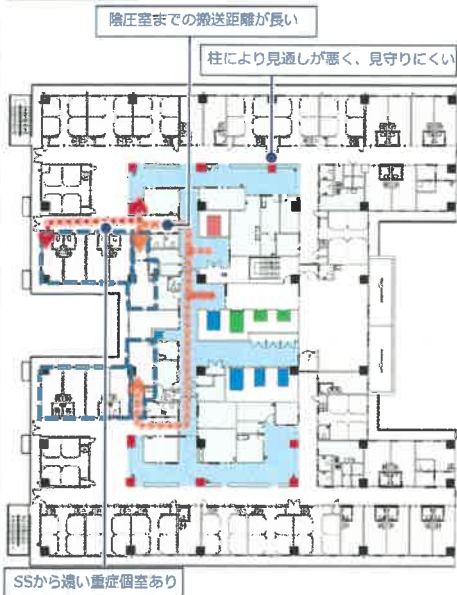
2.柱がなく見通しの良い病棟SS

- ・構造の大スパン化によってカウンターにあった柱を無くし、廊下形状も単純化することで、見通しが良く周囲を見守りやすいスタッフステーションとします。



病棟 (提案設計) スタッフステーションパース

病棟 (基本設計)



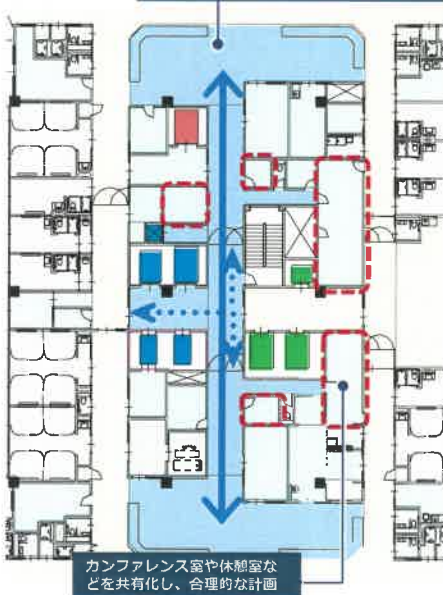
3.SSリンクによる病棟機能の集約と病棟間連携

- ・2つの病棟のスタッフステーションを広い通路で機能的に接続 (SSリンク) します。
- ・この通路は病棟に必要な看護機能を共有化、集約化することができ、病棟全体の物流拠点とすることもできます。
- ・SSリンクにより2つの病棟スタッフのコミュニケーションが活性化し、病棟間連携の向上に寄与します。
- ・SSリンクは必要に応じて、患者搬送に対応することも可能です。



SSリンク (提案設計) SSリンク参考例

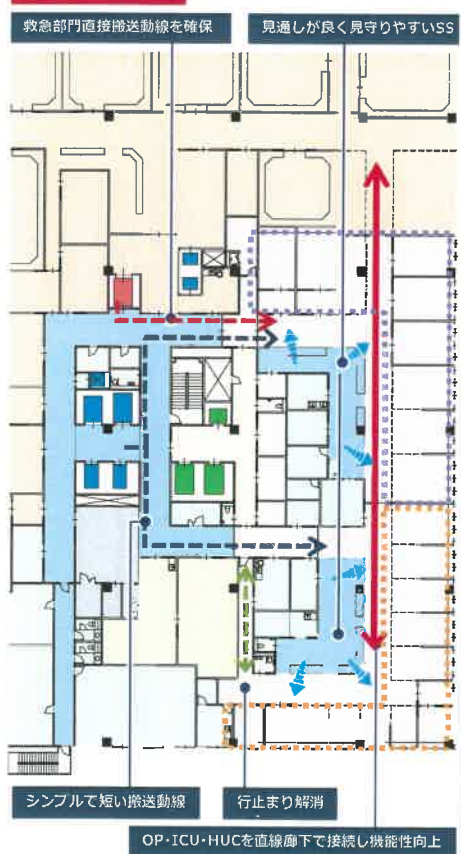
SS間を機能的に接続することで、病棟を経由することなく物品搬送とチーム医療が可能



4.集中治療部門の機能的な動線計画

- ・搬送用EVや救急用EVからICU・HCUへの搬送動線を一般EVホールから明確に分離し、かつ短縮します。
- ・手術ホールからICUホール・HCUホールまでの搬送動線は直線で結び、機能性を高めます。
- ・ICU・HCUとも形状をシンプルかつ共通化を図り、SSから病棟全体を見守りやすい計画とします。
- ・HCUの廊下は行き止まりを無くし、非常時の対応も可能な計画とします。

3階コア部 (提案設計)



評価項目 ・計画に関する工夫 ・災害時に関する工夫 ・コストを削減する工夫 ・事業を円滑に進めるための体制と早期完成に向けた工夫 ・その他の工夫

基本設計の見直しによる機能及び環境等向上の工夫

### 患者の療養環境の向上に資するよう配慮された工夫

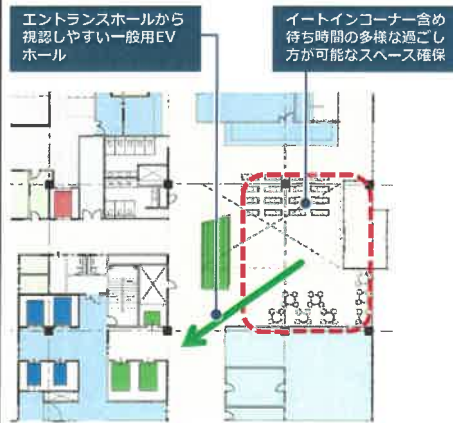
- 外来患者・来院者等の共用スペースを創出します
- 患者や家族に優しい療養空間を計画します
- 地域密着の運用が可能な計画とします

1. 外来患者の診察待ちスペースの充実
2. 入院患者のアメニティ充実
3. 安全性の高い放射線治療室配置
4. 地域貢献も含めたコミュニティスペースの計画

#### 1. 外来患者の診察待ちスペースの充実

- 1階ではコンビニに併設される**イートインコーナー**を拡張し、エントランスホールと一体することで、待ち時間の**多様な過ごし方**を提供します。
- 主動線から独立して**設けた**一般用EVホール**は、来院者のプライバシーを守りつつ、エントランスホールから視認しやすい配置としています。
- 2階では診察部門の手前に広い**待合ラウンジ**を設けます。検査待合や診察待合の混雑を避けることができ、患者に安心感を与えます。
- 外来待合は基本設計の形状と広さを踏襲し、広くゆったりとしたスペースとします。患者がリラックスして診察待ちできるとともに、スタッフ側にも受診患者が目の前にいる安心感があります。

#### 1階エントランスホール(提案設計)



#### 2階外来待合(提案設計)

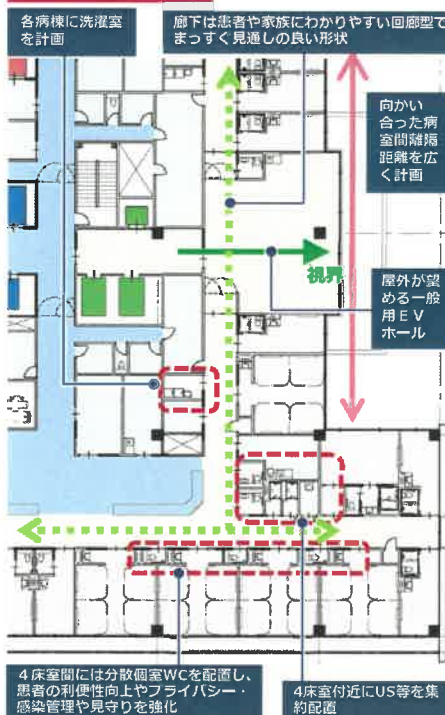


エントランスホールパース

#### 2. 入院患者のアメニティ充実

- 5～7階の病棟は**回廊型**の廊下形状とし、入院患者や患者家族にわかりやすい平面計画とします。
- 廊下はクランクが無い、まっすぐで**見通しの良い**形状とします。
- 各病棟に**洗濯室**を配置し、患者自ら洗濯を行えるよう計画します。
- 単純H型の病棟構成により、窓を介して向かい合った病室間の離隔距離を広げます。
- 病棟の**患者用トイレ**は基本設計を踏襲し、感染管理や見守りがしやすく、患者の夜間使用やプライバシーに配慮した廊下面への**分散型**とします。
- 各階病棟の一般用EVホールからは屋外が見える計画とし、来院者への開放感を与えます。
- 病院内全ての内装仕上げ材はシックハウス対応として、ホルムアルデヒド等級の最上位規格**F☆☆☆☆**の材料を選定します。

#### 病棟平面計画(提案設計)



#### 3. 安全性の高い放射線治療室配置

- 放射線治療室**は基本設計を踏襲して建物本体から切り離れた**分棟**とします。治療室に隣接した居室を設けないことで、被曝リスクを最小限に抑えた施設計画とします。
- なお、放射線治療室を分棟とすることで、1階の共用スペースの圧迫を避けることができ、躯体荷重の平準化による**構造バランス**の効率化が得られ、放射線治療室のために**1階の階高**を高くする必要がありません。

#### 1階放射線治療室(提案設計)



#### 4. 地域貢献も含めたコミュニティスペースの計画

- 4階の**セミナーホール**はイベント等による外部利用を考慮し、外部から来た場合にスタッフ動線と交錯することなくアプローチ可能な計画とします。
- スタッフラウンジ・食堂も同様に外部利用を想定し、可動間仕切りを開放することでセミナーホールと**一体利用**ができる計画とします。
- 可動間仕切りには十分な遮音性能を持たせ、様々な利用方法に対応できる仕様とします。
- この4階のスペースは外部利用を想定しつつ、スタッフもリラックスできるアメニティ空間となるよう計画します。



セミナーホールパース

評価項目 ・計画に関する工夫 ・災害時に関する工夫 ・コストを削減する工夫 ・事業を円滑に進めるための体制と早期完成に向けた工夫 ・その他の工夫

基本設計の見直しによる機能及び環境等向上の工夫

### 職員の職場環境の向上、 合理化に資するよう配慮された工夫

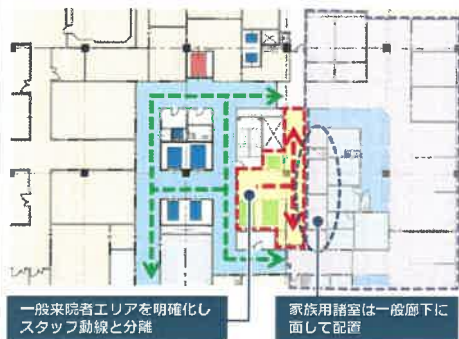
安心して働ける環境を構築します

スタッフ同士のコミュニケーションを促進します

職場環境として十分なスペースを確保します

- 1.セキュリティエリアの明確化
- 2.スタッフ諸室の合理化と集約化
- 3.十分な作業スペースの確保

3階セキュリティエリア(提案設計)



4階セキュリティエリア(提案設計)



### 1.セキュリティエリアの明確化

- ・3階の手術部門や集中治療部のセキュリティを高めるため、お見舞いなどの**来院者エリア**を明確化し、スタッフの動線と完全に**分離**します。集中治療部の家族用諸室は来院者エリアに面して配置し、患者家族にわかりやすい計画としています。
- ・4階の来客エリアを最小限に抑えて単純化し、管理しやすくするとともに、スタッフ廊下を分断せずにつなげることでスタッフの利便性を向上させます。

### 2.スタッフ諸室の合理化と集約化

- ・病棟のカンファレンス室や休憩室は、2つの**病棟の共有**として集約することで、病棟間のコミュニケーションを促進し**連携を強化**します。
- ・スタッフステーションを含め、準備室や観察処置室など業務スペースは各病棟**共通のレイアウト**とし、看護師の配置換えの際にも業務効率を落とさないよう配慮します。

### 3.十分な作業スペースの確保

- ・**スタッフステーション**は形状を単純化して**奥行を確保**し、看護業務を安全かつスムーズに行えるよう配慮するとともに、薬剤師や技師の業務スペースも確保することができ、チーム医療に大きく貢献します。

病棟平面図(提案設計)



### 効率的設計への工夫

病院運営の効率化を図ります

スタッフ数を削減できる計画とします

- 1.スマート技術の導入による効率化
- 2.PFMの活用による看護業務の平準化
- 3.外来における業務の効率化

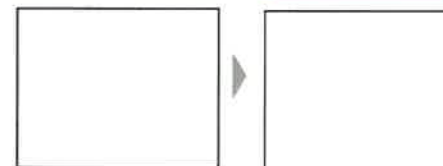
### 1.スマート技術の導入による効率化

#### ■ LCX無線LANシステムの導入

- ・**LCX**は伝送線自体から電波を放出する特性を持ったケーブルです。このシステムの導入により、無線LANのアクセスポイント数を大幅に削減し、**通信障害やローミング障害要因を排除**します。
- ・アクセスポイントの削減により、構築コストの削減や機器更新時の経費削減効果も期待できます。
- ・情報システム予算の一部をこの費用に充て、建設工事に導入することが可能です。(詳細別途協議)

一般的な無線LANシステム

LCX無線LANシステム



#### ■ 院内位置情報取得のためのインフラ整備

- ・**院内位置情報取得のためのインフラを整備**いたします。位置情報発信機内蔵の火災報知機を設置することで、スマートフォンなどの位置情報受信機能を持った機器へのサービス提供が可能となります。ME機器の所在のデータ化など**業務の効率化**や**患者サービス向上**に繋がります。

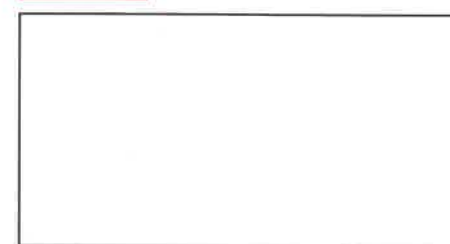


メンテナンス サービス  
消防設備点検時にビーコン動作を確認し、安定したサービスをご提供します。

### 2.PFMの活用による看護業務の平準化

- ・基本設計の入退院支援センターの計画の変更は無く、**PFM (Patient Flow Management)**の導入をご提案いたします。
- ・PFMは看護師をはじめ医事課・MSWなど複数の部門のスタッフで構成される組織で、入院患者の様々なリスクの洗い出しや、病棟業務の一部を担うことで病棟看護師の**業務負担を低減**します。
- ・業務量の少ない午前中には、問診や受診科案内を行い、受付業務の負担低減や**看護業務の平準化**が可能です。
- ・実際に導入し、運用している事例をもとに、当社は業務平準化に向けた様々なご提案・支援を行います。

#### PFMのイメージ



### 3.外来における業務の効率化

- ・**外来受付**を2か所に**集約**し、受付スタッフの削減を図ります。患者からは受診する診療科の受付を見つけやすく、受付からは両サイドの待合を見通すことができるなど、スタッフの負担軽減につなげます。
- ・**点滴室**は外来ブロック内に配置し、スタッフ配置の**効率化**を図ります。各外来ブロックにそれぞれスタッフ用のトイレを設け、業務効率を高めます。

2階外来エリア(提案設計)



評価項目 ・計画に関する工夫 ・災害時に関する工夫 ・コストを削減する工夫 ・事業を円滑に進めるための体制と早期完成に向けた工夫 ・その他の工夫

諸室等の広さ、可変性の工夫

### 諸室等の広さに対して配慮された工夫

面積効率のよい計画とします

機能を重視した広さを確保します

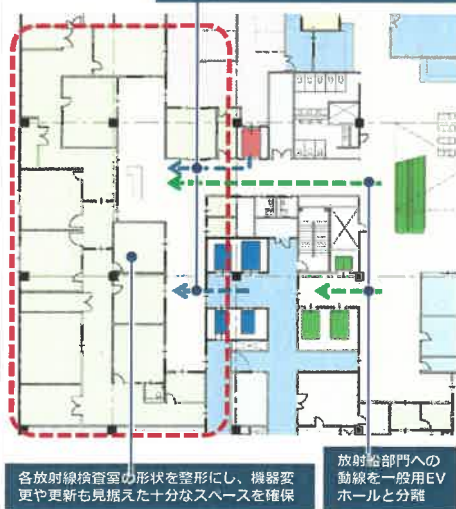
- 1.機能的な放射線検査室
- 2.採血室の拡張
- 3.稼働率の高い手術室の計画

#### 1.機能的な放射線検査室

- ・大スパン化による面積効率と計画の自由度を最大限に活かし、放射線部門の**各検査室に十分なスペース**を確保します。機器の変更や更新時のレイアウトの自由度が高まると同時に、閉塞空間での圧迫感を軽減することができます。
- ・放射線待合は独立性を高め、患者のアプローチも一般用EVホールと完全に分離し、**動線の交錯**を無くしました。
- ・救急部門からの搬送のみでなく、救急用EV・搬送用EVからもアプローチしやすい計画としています。

#### 1.階放射線検査室

救急用EV・搬送用EVからもアプローチしやすい放射線部門



#### 2.採血室の拡張

- ・採尿WCと一般WCの集約化により採血室を拡張し、十分な採血待合や、ベッドでの採血も考慮したスペースを確保します。
- ・採血室がよりエスカレーターや外来の待合ラウンジに近づくことで、診察前検査の運用がしやすく、患者さんの多様な過ごし方にも対応します。



#### 3.稼働率の高い手術室の計画

- ・主要手術室には、あらゆる術式に対応することができる**7m×7m以上の広さ**を確保し、運用効率の高い計画とします。
- ・麻酔医室は、医局化することもできる十分な広さを確保し、業務効率を高めます。

#### 3階手術室



診療科に特化しないあらゆる術式への対応を目指して、当社が開発した手術室モデルである「**コンバーチブルな手術室**」を提案します。設計段階でのレイアウト調整により、7mの正方形の手術室を構成し、かつ、无影灯などの吊物を独自のノウハウで配置することで実現する、運用効率の高い手術室です。

麻酔医の立ち位置が変わらない手術室

開発時の検証の様子

### 将来の医療環境変化に対応可能な可変性に対して配慮された工夫

病床の可変性を高めます

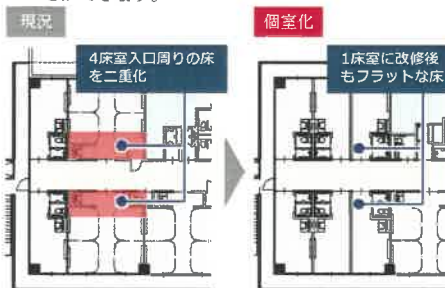
将来工事の際の影響を最小限に抑えます

スタッフ構成の変化に対応します

- 1.4床室の個室化対応
- 2.手術室の将来増設対応
- 3.HCUからICUへの病床転換可能な計画
- 4.スタッフの男女比率変動への対応

#### 1.4床室の個室化対応

- ・一部の4床室において、入口周りの床を**二重床**とします。人口変動などにより病床数を削減して、4床室を**個室化**する場合に、躯体に係る大がかりな工事することなく、水周りを設置することができ、ユニットバスやユニットシャワーも病室と**段差無く**設置することができます。



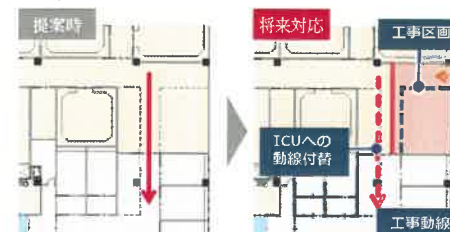
対象範囲のスラブを、あらかじめユニットシャワーやユニットバスの床高さに合わせて下げておくことで、バリアフリーに配慮しレイアウトの自由度の高い個室化が可能となります。

(床段差の具体的な範囲は改めて協議させていただきます)



#### 2.手術室の将来増設対応

- ・将来、**手術室を増設**する際に、手術部門への**影響を最小限**に抑えられる計画とします。既存の手術ホールを狭めることなく、直接対面する手術室が無いエリアに工事区画を形成することができます。
- ・手術ホール東側に窓を設け、改修工事の際は作業員や資材の入口とし、手術への影響を抑制します。
- ・手術部門からICUへの動線は**付替え可能な**計画とします。



#### 3.HCUからICUへの病床転換可能な計画

- ・HCUの一部病室は通路側の仕切り位置の移動で容易に病室を広げられるスペースを確保します。将来**15㎡/床**とすることで、**ICU運用に変更も可能な**計画とします。(特定集中治療室管理料Ⅲ)

#### 4.スタッフの男女比率変動への対応

- ・男女構成比の変動が予想される**スタッフ更衣室**は、サイズの異なる3室を配置し、男女比に合わせて使う室の組み合わせを**柔軟な運用**が可能です。
- ・同様に、当直室においては、**2方向からアプローチ**可能な当直廊下に簡易的な仕切りを配置し、それを移動することで男女構成比に対応しやすい計画とします。

